

◆温水プール検討資料

I 市内小学校のプールをすべて廃止し、総体プールで一括利用が可能か。

1. 総合体育館室内温水プールでの授業の現状

- ①22年度から、体育協会が小学校に希望を取り、希望する小学校が総合体育館の室内温水プールで授業を実施している。
- ②体育協会が行う小学校水泳授業は、基本的に1～3年生を対象としている。
- ③体育協会のバスで小学校から総合体育館へ移動し、体育協会職員が指導の中心になって水泳指導を行っている。
- ④市内保育園、幼稚園は、以前から総体プールを利用している。指導は基本的に各園で行い、体協職員が指導するのは全体の4分の1程度の日数。

2. 23年度実施実績

- ①7小学校、2中学校が室内温水プールを利用
- ②6/10～7/13（土、日、休館日を除く）、11/25, 12/2, 7, 8, 14, 15の24日間、主に午後の2時間で実施

利用した学校	利用日数	学年	期間
大町小学校	1	1, 2 年生	6、7月に実施
住吉小学校	3	1～3 年生	
松倉小学校	2	1～3 年生	
上野方小学校	3	1～3 年生	
吉島小学校	6	1～3 年生	
経田小学校	1	2 年生	
西布施小学校	2	1～3 年生	
東部中学校	5	1 年生	11、12月に実施
西部中学校	6	1 年生	
計	延べ29日		

- ③市内20保育園・幼稚園の利用は5月25日から9月2日（土、日、祝日、休館日を除く）の間（54日間）、各園2回程度、午前中に実施している。

3. 全小中学校が室内温水プールで授業を行う場合の問題点

- ①これまで、児童の移動手段は、体育協会所有のマイクロバス1台での移動のため人数に制限あり。（中学校は民間バスを借上げ）
- ②午前中は、市内の保育園児等の送迎を体協バスで行っているため、小学生の送迎はできない。午前中に小学生の授業をする場合は、別途移動手段の確保が必要である。
- ③現在は体協職員が中心になって水泳指導を行っている。児童数が多い授業となると、体協職員だけでは多くの児童を指導できないので、特に児童数が多いクラスは、安全のためにも教員も指導に加わってもらう必要がある。なお、現在、半数以上のクラスは先生も一緒に指導に加わってもらっている。
- ④全小中学校が総合体育館でプールの授業を行う場合、夏場に限らず、通年でのプール授業を計画的に行うことが必要となる。

## II プールを改修、新築した場合、どれだけの機能が、どれだけの費用でできるか。

### 1. 改修の場合

#### (1) 当面必要とされる修繕等

- ①ろ過ポンプ改修工事 5,000千円
- ②ろ過器廻り配管更新工事 6,819千円
- ③採暖室熱交換器取替え 2,000千円

#### (2) 耐震診断

- ①費用見積り：温水プール耐震診断費用 3,580千円（税込み）  
温水プール配管等耐震診断費用 2,625千円（税込み）
- ②耐震診断後、耐震補強が必要となるが、診断結果により改修に必要な金額が異なる。

### 2. 新築の場合（他県の新築の例）

#### (1) 名称 井出山屋内温水プール「きらめき」（奈良県生駒市）

#### (2) 施設概要

地上1階 床面積1,673.45㎡  
プール（25m×7コース、コース幅2.3m、深さ1.15m）、プール内ジャグジー、  
小児用プール（3m×5m、深さ0.55m）、ダンススタジオ、トレーニングジム、  
談話コーナー、災害時浄水機能

#### (3) 事業費

設計業務	10,080千円	
建築工事	459,900千円	（予定価格552,720千円）
工事管理業務	9,240千円	
加熱専用ヒートポンプ(備品)購入費用	16,800千円	（夜間電気を使用した温水器）
合計	496,020千円	

旧プール解体 10,815千円

きらめき 館内図

